

黒野城と加藤貞泰公研究会
平成25年度(2013) 活動行事記録

紙芝居「黒野のお殿さま」・本巢市「古墳と柿の館」で上演

黒野城と加藤貞泰公研究会

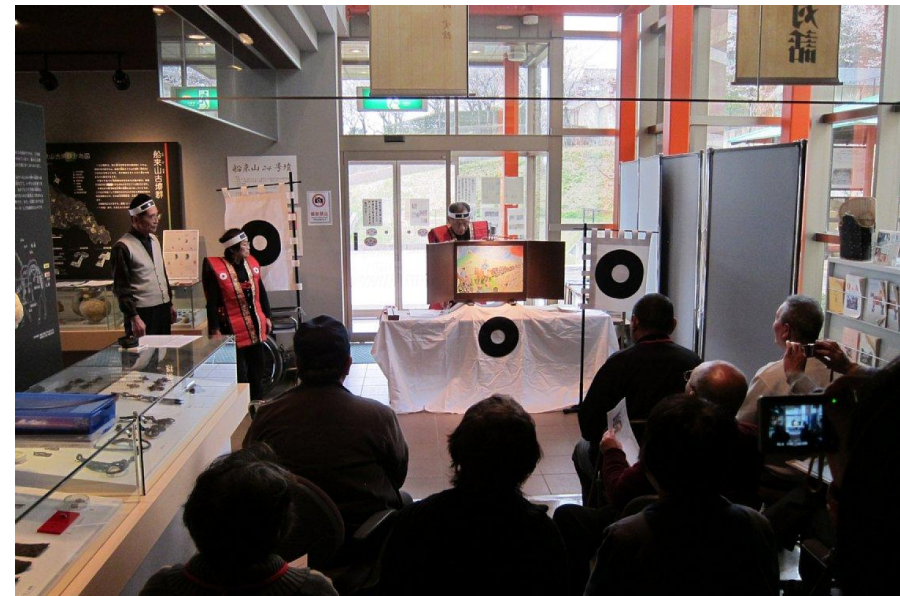
日時：平成25年3月29日(金) 14時00分～16時00分
場所：本巢市「古墳と柿の里」

本巢市教育委員会社会教育課 文化・スポーツ振興係の恩田氏らと船来山ボランティアの皆さんらが、船来山の伝説を紙芝居にするために、黒野城の紙芝居作りを参考にしたいと要請があり、当日は研究会4名にて訪問上演を行った。また継続して、紙芝居作りの経験からポイントとなるノウハウを配付資料などにより郷和彦氏から説明された。

本巢市では4月27日～5月6日間の親子歴史体験教室で、延べ5回ほど、当館の展示場内でボランティアによる上演が予定されている。(市のポスターで発行済み)4月5日、2回目の打合せ会に郷和彦さんが出席。



ロビーの入口で9名のボランティアや市職員に上演



イルミネーションで紙芝居「黒野のお殿さま」上演 黒野城にちなんだ露店登場

紙芝居上演

日時：平成25年4月13日(土) 16時20分～16時40分

場所：黒野城跡

3月31日～4月13日まで黒野城跡公園でのイルミネーションが実行委員会にて2回目の開催。今年は桜が早咲きであったが約4000人(主催者報告)が来場。最終日には、イルミネーションの輝きのもと屋外では初の紙芝居を上演。子供達や市民の前で上演した。
上演者：郷和彦・郷孝夫・岡野正弘



黒野城にちなんだ
露店登場

イルミネーション開催期間中、黒野城にちなんだ2軒の露店が新登場。

1軒は蛇の目の形をした「じゃがいもドーナツ」(夢ふうせん折立店)、もう一件は、黒野城にちなんだ新開発した「くろのあんパン」(黒あん入り)、「しろのあんぱん」(白あん入り)(折立ブレッドテーブル)

研究会の本年度活動のひとつに、企業にお菓子製造依頼の計画があり、黒野城弁当(貴久家)に次いで2件目の名物(?)登場。



屋外でしかもイルミネーションの元・味わいある紙芝居上演



応募の黒野城キャラクター



武将隊も登場・会場を盛り上げ



黒野城にマッチした幟



蛇目紋「じゃがいもドーナツ」と「あんパン」店

加納まちづくり会



記念講演会(紙芝居)を上演します!

○開催概要

日時:平成25年5月25日(土)

・15:00 紙芝居の上演、講演会の開催

・16:30 終了(予定)

○会場:岐阜市南部コミュニティセンター

○記念講演

演題「黒野城と加藤貞泰公研究会」の市民活動

1. 紙芝居「黒野のお殿さま」 上演:郷 和彦氏



2. 黒野城の歴史

講師:河川 耕三氏

3. 研究会の活動状況

講師:河川 耕三氏

定員80名のため、会員優先とさせていただきます。

○「加納まちづくり会」年会費のお願い
加納まちづくり会会員の方 および 新規入会ご希望の方は、平成25年度の年会費(1口1,000円以上から)を総会当日受付においてお支払い下さいますようお願い致します。

○問合せ・連絡先
「加納まちづくり会」事務局
〒500-8415 岐阜市加納中広江町68
横山ビル3階 事務局長 松尾 一
TEL:090-3389-3067 FAX:058-274-7197
ホームページ <http://kanou-jiyo.net>



加納まちづくり会

協力:加納東自治会連合会、加納西自治会連合会

発足9年目の「加納まちづくり会」(水野律子会長)の顧問富樫先生から研究会に講演のお話があり、外部で初の講演を行う。

当会の総会の後、約60名の皆さんが約2時間熱心に見て聞いて頂いた。一般参加には鶯谷中学の生徒数名の中に昨年黒野小6年で紙芝居を書き発表した河合菜々美さんも見に来られていた。

活動状況の説明では、黒野の皆さんは大変元気でパワーが見られますと感想があった。記念講演の恒例行事、和傘の贈呈には大変嬉しいことでした。また2次会にて多くの方と交流を深めることが出来ました。



紙芝居「黒野のお殿さま」
怒る亀姫登場



「黒野城の歴史」講演
配付資料別紙



写真撮影
富樫顧問

加納まちづくり会副会長で和傘作りの老舗(株)マルト藤沢商店・藤沢健一社長から和傘(奥様筆「黒野城と加藤貞泰公研究会」)を記念に頂く

平成25年度 岐阜市市民活動支援事業 企画コンペ

開催日
2013. 06. 01

黒野城と加藤貞泰公研究会

ハートフルスクエアG
(JR岐阜 東側二階交流サロン)



支援事業のコンペは今年で3年度目。支援事業が受けられるのは今年が最後になる。審査では、昨年度よりもステップアップし、来年以降の活動に継続・発展性が要求されました。

5月28日に黒野会館で3時間ほどの打合せと練習を行い、当日は各部長さん7名にて6分間のコンペ。パフォーマンスも組み入れて審査を受けました。

研究会のコンペは、昨年に引き続き、コンペと、活動に定評があり、皆さんから高い評価を頂きました。

審査結果は1週間後の8日に採択の通知が届きました。結果は、審査員5名、1人25点の合計125点中、99点。申請した28団体中2位で上位18団体が採択。ちなみにH23年度84点で中位、H24年度は100点の2位で企画に向上が見られます。



紙芝居第2弾「お堀から出てきた観音さま」



コンペは午後の部
抽選で10団体中最後の発表
発表者(順) 戸川事務局長
関谷監事
郷和彦監事
浅野監事
郷孝夫会長
河口副会長
名知監事



↑運動会での仮装行列計画巻絵

←2名の審査員から質疑応答に答える
郷会長

- ・次年度以降の活動費の確保予定は？
- ・城下町見学会の市民募集方法？



終了後、駅南口の清水緑地「加納ほたる祭り」会場で休憩 5

垂井町 & 関ヶ原町 野外研修

6月19日(水) 8:30~16:30

2013.07.13

黒野城と加藤貞泰公研究会

関ヶ原合戦当時と同じ雨天の中、研究会など13名は4台に分乗して垂井町と関ヶ原町を訪れる。

来年の大河ドラマ「軍師官兵衛」で話題になるご当地。竹中半兵衛ゆかりの竹中氏陣屋跡や半兵衛の墓がある禅懂寺、官兵衛の嫡男黒田長政ゆかりの五明稲荷と関ヶ原古戦場を名知勲氏の案内と解説で見て廻る。関ヶ原町歴史民俗資料では、家康の貞泰と竹中重門宛書状などを見て回り当時は偲ぶ。

竹中氏陣屋跡



安土桃山時代には岩手城と呼ばれていたが、江戸時代に竹中氏が旗本身分に留まったため城は陣屋と呼ばれるようになった。別名、竹中陣屋、岩手陣屋。



黒野城にもこんな石垣や門があるとなえな……。



禅懂寺



竹中半兵衛の墓・父重元墓

大洲家の墓→



善懂寺で大洲姓の墓を見つけ尋ねると、なんと大洲から来たから大洲姓を名乗る檀家の墓という。墓の初代は元和2年(1616)。他寺に寺嶋姓もあるという。



五明稲荷

松寿丸(黒田官兵衛の嫡男で後の黒田長政)が五明にかくまわれ、岩手を去るときに境内に植えたと伝わる大銀杏の木



竹中家の菩提所 禅懂寺山門にて

関ヶ原町 関ヶ原古戦場



桃配山 徳川家康最初の陣跡

天下分け目の地 雨天の関ヶ原を訪ね激戦地を巡る。
あいにくの天気で丸山砦跡や笹尾には登れなかった。
加藤貞泰ら黒野から参戦の人々は、どんな戦であったであろうのか？



東首塚



松平忠吉・井伊直政陣跡



床几場・徳川家康 最後陣地



関ヶ原町歴史民俗資料館



加藤貞泰公の陣場(相川付近)
・後方の山に丸山烽火場(黒田長政・竹中重門陣跡)
右側の相川辺りが貞泰公の陣跡(名知氏説明)



笹尾山・石田三成陣地

ぎふまちづくりコーディネーター養成講座2013 つなぐ人カレッジ 第4回プログラム

6月23日(日) 9:30~17:00
場所: 黒野会館・くろのまち歩き
主催: 岐阜市にぎわいまち公社
岐阜市

黒野城と加藤貞泰公研究会



←コーディネーター申込者
講座風景



紙芝居「黒野のお殿さま」上演

6月7日~7月15日まで全5回の講座。第4回目は、くろのまちあるきで地域資源の探し方を学ぶ養成講座。最初に紙芝居上演が急遽追加になり、郷和彦氏、郷孝夫氏にて上演。

5グループ(1グループ約5名)に分かれ、それぞれ決めたコースで道案内、説明、質問に答える役で会員5名が参加する。

コーディネーター希望者の、自治会連合会会長の野々村氏、黒野青少年育成市民会議会長の工藤氏、郷孝夫氏、浅野氏が全講座に参加。富樫先生は主催者顧問。コース案内役は、郷孝夫氏、郷和彦氏、佐部利氏、浅野氏、河口の5名。

地元の私達の風景と、他から初めて来た人が見る黒野のまちには、「良き古さも多く残っていますよ」と、見慣れた景色の中に新たな発見も多くあり、非常に有意義な講座でした。



それぞれのグループでテーマを決め、パネル表示から
巻物表現など多彩なグループ発表でした。

5グループに分かれ、それぞれ
コースを決め約4時間のまちあるき
会館でまとめ作業・グループ発表



ぎふまちづくりコーディネーター養成講座2013 つなぐ人カレッジ 第5回プログラム(最終回)

平成25年7月15日(月) 10:00~17:00
 場所: 黒野会館
 主催: 岐阜市にぎわいまち公社・岐阜市
 ・交流会18:00~21:00(貴久家)



最終回のプログラムは、事例紹介「長良川おんぱく舞台裏」紹介(講師の蒲氏)。

5グループに分かれ、前回実習「まち歩きで発見した資源を活かしてまちづくりプラン」をつくる、グループ発表、全体評価、講座全体のふり返りなどが行われた。

研究会関係の参加者は、富樫顧問、野々村氏、工藤氏、郷孝夫氏、浅野氏、郷和彦氏、佐部利氏、河口の8名。

それぞれのグループで、まちづくりプランのテーマを決め、パネル表示から巻物表現など、多彩な内容で5グループが発表した。



閉会後に残っていた人で記念写真(研究会6名)

黒野城下町案内板の除幕式

開催日 : 平成25年8月6日(火)13:30~14:10頃
 場所 : 黒野城跡入口

前日来の大雨で心配していたが、開催の約2時間前から快晴に恵まれ、紅白幕張など設営を監事など8名が準備し、黒野城跡にて除幕式を迎えた。

寄贈者の新日本ガス株式会社高井宏康社長様や岐阜市教育委員会から事務局次長の長原貴幸氏、内堀信雄課長、高橋方紀氏、公園整備課から岩野氏他1名、市NPOボランティア協働センター関係の青木由美子氏、岩月桂子氏、長屋氏。案内板製作者のサインタワー河合氏。他に各種案内板の設置協力者3名及び研究会16名、市民数名、新聞社4社の約35名が参加。

関谷氏司会進行・郷会長はじめの言葉・除幕・長原氏挨拶・寄贈者の高井社長へ細江岐阜市長からの感謝状贈呈・寄贈者挨拶・祝辞野々村黒野自治会連合会長・信田顧問、おわりの言葉河合・最後に記念写真撮影を行った。



岐阜市教育委員会の長原事務局次長(左)から感謝状贈呈



寄贈者の新日本ガス株式会社高井宏康社長



美化活動委員の松井さんたちが育てた花のプランタ設置



木原啓二氏撮影

平成25年度 案内板の設置

市民活動支援事業で、本年度の最大の事業(費用面)である案内板の設置事業は、7月末に11カ所に設置。

また、本丸入口と、仲町バス停には総合案内板として新日本ガ株式会社高井宏康社長のご厚意により製作費を寄附して頂き、案内板を岐阜市へ寄贈。同じ内容、大きさの仲町バス停の案内板は、研究会に寄贈して頂きました。これで黒野城下町案内板は3年間で15箇所設置し充実してきました。

地域住民や城愛好家などに便利になりました。



⑭案内板部会で有線放送時代の電柱撤去作業



⑭ 西木戸跡・堀跡
島部徹宅小屋壁面



⑬ 城郭外堀跡
(多賀神社境内裏)



⑮ 黒野城ゆかりの遺跡・寺院
(東木戸)



⑤ 黒野城下町案内 (黒野城跡入口)



⑦ 南東櫓跡



⑧ 百々ヶ峰遠望
本丸土塁と堀

黒野城跡



⑨ 椅子に遠方の山など表示



⑩ 船来山など遠望



⑪ 史蹟道案内 (KVK 角)



⑥ 黒野城下町案内(仲町バス停・宮部孝行宅・⑤と同一内容・大きさ)



⑫ 薬師堂 (南町・西町自治会)

黒野城下町の案内板設置場所

平成25年8月6日(火)発行
黒野城と加藤貞泰公研究会

「黒野城と加藤貞泰公研究会」では、黒野城郭内の史蹟などに、それぞれの概要を表した案内板を企画・設置しております。



設置年度	案内板の名称	(場所)
H23	① 黒野城跡本丸	(黒野城跡入口)
H24	② 黒野城ゆかりの寺院・堂(あそか苑前)	(西町交差点)
	③ 楽市の町屋敷跡	(西町交差点)
	④ 黒野城下町案内板	(平野病院前)
	⑤ 黒野城下町案内	(黒野城跡入口)
	⑥ 黒野城下町案内	(仲町バス停・宮部宅)
	⑦ 南東櫓跡	} (黒野城跡)
	⑧ 百々ヶ峰遠望 本丸土塁と堀	
H25	⑨ 椅子に遠方の山など表示	} (黒野城跡)
	⑩ 船来山など遠望	
	⑪ 岐阜市史蹟・黒野城跡140m	(KVK 角)
	⑫ 薬師堂	(南町・西町自治会)
	⑬ 城郭外堀跡	(多賀神社境内裏)
	⑭ 西木戸跡・堀跡	(島部宅小屋)
	⑮ 黒野城ゆかりの遺跡・寺院	(東木戸)
	⑯ 北西櫓跡(黒野城跡・発掘調査後、設置)	

※ この事業は岐阜市市民活動支援事業の補助対象事業です
※ 案内板は、寄贈者による製作・寄附も含まれています

共和町自治会紙芝居上演

日時：平成25年8月23日（金）19:30～20:00 共和町公民館

参加者：共和町自治会役員15名

挨拶：郷会長

上演者：郷和彦・岡野正弘 配付資料「四万石は今いくら？」

散策案内：河口副会長



共和町公民館にて自治会役員さんに紙芝居上演

共和町・三ツ又遺跡&城下町散策

日時：平成25年8月25日（日） 8:00～12:00

参加者：共和町自治会の皆さん10名（男5・女5）、岐阜大生1名

案内者：研究会同上3名

配布資料：リーフレット・城下町推定図・共和町・三ツ又遺跡資料2枚

・城下町コース地図

6月、7月に参加した「まちづくりコーディネータ養成講座」にて、「まちなか歩き」がきっかけで、共和町の宮部敏郎自治会長から町内住民対象の城下町案内を要望された。

「紙芝居上演」と地元「共和町、三ツ又の遺跡&城下町めぐり」を企画し、2日間の市民活動を行った。

コースは、共和町の地蔵、正木御坊ゆかりの地、地蔵寺、三ツ又の芭蕉句碑を廻る。黒野城跡に移動し、9時頃から10箇所の新しい案内板含め城下町案内を12時まで歩いた。明善寺では、住職から初公開の軸も拝観する。雨で濡れた靴の中でしたが猛暑よりはましであった。参加の皆さんから喜ばれました。



共和町公民館前集合
スタート前に当地の昔を地図説明



三ツ又 芭蕉・神山寸木連句碑の前にて



熊野神社南の外堀跡



国島家門前で由緒を会長説明



あそか苑・阿弥陀如来像の歴史説明



明善寺にて住職から寺宝2軸を拝観



堀から出た観音様・写真で説明



あそか苑・本日が最後の盆踊り会場
9月から増築工事が始まる

黒野会館歴史講座

演題: 関ヶ原合戦と加藤貞泰公
講師: 名知 勲

平成25年8月31日(土)
19:30~21:30

黒野城と加藤貞泰公研究会

21:30~21:35

研究会の市民活動状況
説明: 河口耕三

歴史講座には、地元の市民の他、黒野と歴史関係がある校区外からも参加があった。北方町文化財保護協会平田盛夫会長、馬場敏男氏、北方町議会議員副議長安藤浩孝、北方町西順寺三浦真智住職、長良郷土史クラブ小野賢悟会長、棚橋正廣事務局長、他。研究会12名・計35名が参加。

名知氏によると、加藤貞泰が関ヶ原合戦に参戦し東軍に味方した理由は、親族の一柳直盛と竹中重門の影響が最も大きかった、と合戦の経緯を詳しく説明された。最後にはカラオケ「関ヶ原・男の決断」を声を枯らして熱唱。



黒野会館の郷由美さんから
講師名知氏を紹介



男の決断熱唱の名知氏



講演で恒例となった鎧を
松井浩子さんの指導で組立

展示パネル
・市民活動パネル
・長良川おんぱくホスター

配付資料
・関ヶ原合戦年表・関ヶ原合戦図志
・東西戦隊表・研究会の活動状況
・信田氏「黒野城下町かわら版」



「長良川おんぱく先行予約会&決起集会」初参加

平成25年9月8日(日) 14:00~19:00頃

うかいミュージアムにて、長良川おんぱくファンクラブ会員向け先行予約会が行われ、約20団体が参加。研究会は初めてエントリー。案内人の研究会5名と、タッグを組んだ女子大生1名で参加。黒野城には1名が先行予約された。



先行予約会受付状況 右端が黒野城コーナー



なにも準備せず参加したので急遽、ポスター作成



研究会
受付状況

自分たちで生地を焼き、求肥をはさみ、焼印で顔をつけ完成。焼きたての鮎菓子は旨い。



中央おんぱく会長の石金永瀬社長・左側は落ち鮎瀬張り漁の達人小島力さん(エントリー№74)は鶺鴒なんでも博士

「各務野歩こう会」一行を案内

平成25年9月11日(水) 11:00~12:15

黒野城と加藤貞泰公研究会

案内人: 岡野正弘
郷 和彦
河口耕三

「イルミネーションの紹介パンフ」に掲載の岡野さん電話番号から、各務原市の「各務野歩こう会」の野村さんが、黒野を歩きたいので下調べに来ていた。その縁から、一行18名が各務原から、岐阜駅前に8時30分集合して、岐阜バスで大学病院で下車、病院ロビーで説明を受け、黒野城まで歩いて来られた。

本丸で概要説明し、土塁を廻り、発掘現場で説明を聞き、伊藤家の塀と門へ、各務原にはこんな立派な屋敷はないといわれる。別院跡から、明善寺に入り、梁瀬住職から、格天井絵、伊原宝水画の鳥絵、祖父が小さな字で書かれた南無阿弥陀仏の軸を拝観。観音堂前で郷和彦さんから詳しく説明。コマツヤから南に抜け、貴久家でランチ昼食。われわれも昼食に同伴。来週は、愛知県岩倉のコースも予定され元気な歩こう会の皆さん、60~70才の女性14名、男性4名の一行でした。



土塁に登る一行
歩こう会にふさわしく健脚の皆さんでした



櫓跡発掘調査の説明を聞く
(現代の地層の下に江戸時代の層が出てきた)



梁瀬住職から軸の説明



格天井絵を拝見



観音堂前



貴久家への道歩き

「一宮中日文化センター」一行 平成25年9月21日(土) 11:00～14:40

黒野城と加藤貞泰公研究会

案内人：郷 孝夫

郷 和彦

河口耕三

一昨年からハートピア安八の安八町歴史民俗資料館が、加藤貞泰の検地帳所蔵の縁から、何度もお世話になった。その岩田義城さんが、退社され中日歴史紀行幹事になられ、「宿場と街道」の活動を始められた。今回、その縁から、黒野城下を下見に来られ、「岐阜黒野城と根尾街道」のテーマで6月には一宮中日文化センターで講演を行い、今回現地見学が行われた。

参加者14名(内女性10名)がバスで黒野城跡前下車、11時に黒野城跡で迎え、説明後、本丸案内。貴久家で黒野城弁当。午後、町通りを案内。大変暑いのでコースを短縮して、国島家の門を見て、黒野小前バス停2時40分にバスで帰られた。

よその土地の人から見ると、古い佇まいが残っている黒野の印象を言われた。よしや和菓子店で数名が土産に買われた。紙芝居を見たいと、要望も出たが、いつか機会があれば、出張しますと伝える。



11時、黒野城跡にバス停から到着



国替いで移動したタンポポの説明



光順寺山門



観音堂・写真で説明



よしやで土産買い物

黒野城跡美化活動（長良川おんぱく前に清掃活動）

平成25年9月26日（木） 10:00～13:10

9月28日開催の長良川おんぱく前に、草刈り、草引き、ゴミ拾いの清掃活動に、会員12名参加。

知らないうちに一般の人も2名加わっていた。大型草刈り機1台、草刈り機3台の機材を投入し、来訪者への環境を整えた。稲荷寿司で昼食、その後、運動会仮装行列の打合せも。13時からは、おんぱく案内人による最終打合せを公園内で行う。

また、29日（日）に開催された「発掘調査報告会」にも役立つ清掃活動でした。



作業開始前のみなさん



松井さんは大型草刈り機を持参
土壘上は、スッキリ歩きやすくなった



作業終了後のみなさん

長良川おんぱく2013 No32 「写真好き集まれ☆ 女子大生と行く! 黒野城下町あるき」主催

平成25年9月28日(土) 9:00~12:30 会費1200円・申し込み定員20名、当日参加者17名(男13・女4) スタッフに研究会8名、女子大生7名

好天に恵まれ、岐阜大4年安田さんの司会進行で、華やかな、明るい雰囲気の中、堀の水上公園、初の神社拝殿では紙芝居上演。伊藤家門と観音堂の公開。

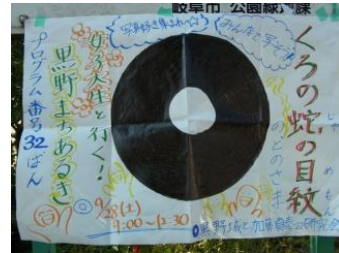
数名のカメラ愛好家を含み、女子大生と背景をパチパチ撮りながら予定コースを廻る。

参加者の大多数が満足(おんぱくアンケート結果)の城下町歩きでした。終了後、スタッフ15名が貴久家ランチでご苦労さん会。

参加者から写真を募集し、「会館まつり」で写真展を開催した。



受付の女子大生



9/4おんぱく先行予約会で作成



多賀神社で紙芝居初上演



神社拝殿では蚊取り線香効かず



水上公園を案内



7名の女子大生



あんぱんパckリ



国島家にて



別院跡前



観音堂にて

平成25年9月29日(日)14:00~15:00

平成25年度 黒野城跡発掘調査現場見学会に参加 北西隅櫓跡

黒野城跡の発掘調査は、403年前に廃城以来、初の調査で、9月度に北西櫓跡の発掘が行われた。現場見学会は、岐阜市教育委員会が主催で内堀課長や発掘調査を行った岐阜市教育文化振興事業団 埋蔵文化財調査事務所から概要説明があり、担当した下村氏から詳しい報告と資料が配布があった。市民の関心も高く、約30名が参加した。研究会員は14名参加。質疑も多く、関心の高さが伺えた。今回の報告では、隅櫓の痕跡はなかったが、土塁の構築方法が分かり、出土遺物は、合計190点出土。今後、堀や本丸内などの発掘調査に期待する。



主な出土物



内堀信雄課長から説明



発掘担当の下村氏から詳細説明



大洲市訪問 一日目 お迎え&史跡巡り 訪問日:平成25年10月2日(水)・3日(木)

昨年11月大洲史談会御一行が来訪から11ヶ月、念願の大洲市訪問が実現した。岐阜側からは、市教育委員会2名、研究会15名、貞泰や大洲ゆかりの人など7名の計24名が参加した。綿密なスケジュールが生まれ、大洲市長始め、大洲史談会村上会長他の歓迎と、人情味溢れるもてなしを受ける。好天にも恵まれ、素晴らしい二日間であった。



しおかぜ3号(岡山～松山)



大洲駅で村上会長他お出迎え



マイクロバスで昼食会場いずみや



昼食 いずみや



史跡巡り 最初に竜護山曹溪院
加藤家墓所



加藤貞泰公墓



藩祖加藤光泰公墓



藩祖加藤光泰公墓



曹溪院本堂から赤門望む



大洲高校内 中江藤樹青年像



中江藤樹の至徳堂 大洲高生清掃中



至徳堂で村上会長から藤樹の説明



中江藤樹が利用した井戸跡



大洲城南隅櫓(重文)



発掘遺物をスケッチする
女性たち

大洲城に到着 一日目



お殿様公園から望む大洲城天守



中江藤樹像



天守(復元) 高欄櫓(重文)



大洲城のトイレ写真を参考に黒野城のトイレが3月完成



大洲城二の丸で記念写真 天守(復元) 高欄櫓(重文)

歓迎セレモニー

大洲市をあげての大歓迎



天守(復元)と石垣

本丸への坂を登ると大洲側から拍手でお迎え



本丸と台所櫓をバックにセレモニー



河口副会長から黒野古城之図贈呈

大洲市長に玉木和廣氏から英治画伯の「長良川鶉飼」油絵贈呈の後、野々村連合会長から大洲史談会村上会長に加納の和傘贈呈



← 黒野側研究会代表 郷会長挨拶



長原教育委員会事務局次長から岐阜市長メッセージ



「黒野城と加藤貞泰公研究会」&「大洲史談会」歓迎セレモニー 平成25年10月2日 於 大洲城 本丸 23

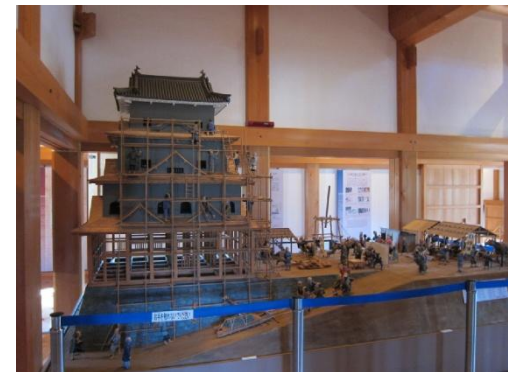
大洲城入城



入口に展示の鎧・兜



天守(復元)と台所櫓 (複合連結式4層4階の天守閣が特徴)



天守築城のジオラマ



台所櫓(重文)を説明する村上会長



南方 城下町



西方 城下町



西方



北方 肱川

研究交流会



会場：
肱南公民館台ホール



二宮大洲市教育委員会教育長挨拶



山田広志大洲市立博物館学芸員発表
テーマ「加藤貞泰と大洲」(資料)
その後、史談会の中野氏から加藤氏一族の説明



「黒野研究会より情報提供」(河口副会長)
・TVニュースなどで放映された研究会活動を視聴
・その後の活動状況(資料)

懇親会

会場： 研屋(とぎや)

黒野側 24名
大洲側 33名
全 57名



大洲史談会村上会長
歓迎スピーチ



清水大洲市長
歓迎の挨拶



黒野代表
野々村連合
会長挨拶



小島副市長と蛇の目紋の
市章バッジ



↑ 余興で名知さんの「決断・関ヶ原」
を熱唱

出来たての「黒野城下町賛歌」を
熱唱する黒野側

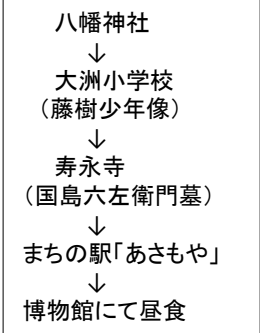
二日目 史跡巡り

A、B、Cの3コースに分かれて史談会の案内で史跡巡り、その後、大洲市立博物館に集合、昼食を頂き大洲駅で見送られ、帰路に就く。

Aコース



八幡神社の本殿にて説明を受ける



大洲小学校 中江藤樹少年像



寿永寺 国島六左右衛門の墓参り



大洲歴史探訪館のいろは丸
右側展示場に国島六左衛門の署名



肱川対岸からの大洲城天守



おはなはん通り きれいな水路・側にまちの駅「あさもや」



博物館内の鎧展示物
左本家・右が新谷藩



山田広志学芸員から
館内展示品の詳しい
説明を頂く

Bコース



臥龍山荘にて

寿永寺
 ↓
 臥龍山荘
 ↓
 妙法寺(加藤家墓所)
 ↓
 富士山(とみすやま)
 ↓
 まちの駅「あさもや」
 ↓
 博物館にて昼食



新谷の法眼寺(ほうげんじ)
 岐南町徳田・正村英司さん先祖の墓参り



直泰公墓と法眼寺前住職(現院主)八島龍晴氏



富士山(とみすやま)中腹から眼下を見る



臥龍山荘の肱川の洪水から
 守る立派な石垣

Cコース

新谷の法眼寺(ほうげんじ)
 ↓
 まちの駅「あさもや」
 ↓
 博物館にて昼食



新谷小学校入り口に松本零児氏の
 壁一杯に描かれた3ナインの絵

全コース博物館にて



富士山(とみすやま)中腹から眼下を見る



博物館内で昼食弁当
 大変お世話になりました



大洲城ジオラマの前にてお礼の挨拶

第34回黒野校区市民大運動会 「黒野城武将隊」 仮装行列初見参

平成25年10月6日(日) 黒野小

「黒野城武将隊」を結成し、運動会に初参加。総勢39名(会員19名・家族子供4名・他16名)の編成。10月2日に訪問した夜、大洲八幡神社の行列(約250人)の歩き方、太鼓に合わせてドーン・ドン・ドンで足を揃えて停止。を大洲スナック兔のママに教わり黒野で採用した。

可愛い幼児と子供鎧、華やかな女性衣装、重厚な鎧・兜の武将隊、蛇の目紋旗の陣羽織隊など、解説付の武者行列は、市民から注目され、研究会の存在がアピール。評判が良かった。



蛇の目紋旗と 赤・黒絢爛衣装



黒野白寿会連合会・研修会で講演

講演「黒野城と城主加藤貞泰公に関わること」 郷孝夫会長

平成25年10月31日(木)
9:30～11:05
会場：西部コミュニティセンター



黒野白寿会連合会長の河口廣司氏から研究会に講演要請があり、大会場で約300名の白寿会の皆さんの前で、郷孝夫会長がパワーポイントで1時間30分の講演を行った。

北警察署による高齢者の交通安全の講演1の後、講演2で登場。その後、白寿会のコーラス部による7曲の合唱もあった。講演のサポート役で、河口、名知が参加した。

最近、地元、黒野では、黒野城や研究会の知名度が高くなってきており、多数の住民が黒野城主や、黒野城の歴史に耳を傾けるようになり、波及効果が出てきました。

黒野城 と 城主加藤貞泰公にかかわること

黒野城と加藤貞泰公研究会 郷 孝夫

映像1～7がはいる

黒野城について

- 時代……安土桃山時代末期～徳川時代初期
(戦国動乱期)
- 在城……今から約403年前までの15年間
文禄3年～慶長15年(1594～1610)
- 城主……加藤貞泰公(数え16歳の殿様)
- 国替え…甲斐国(山梨県)から4万石で黒野入り
- 甲府と黒野……雲泥の差
* 倭名抄…「鶴養」 長良川瀬川発祥の地



長良川おんぱく主催 「女風水士と巡る、中世風水都市・黒野城下」を案内役

開催日：平成25年11月2日(土) 13:00～16:00

開催2日前に、おんぱくオーナー蒲氏とコース下見を行う。

案内人は、大坂の靈感風水師あーりんさん。一般参加とスタッフ合わせて14名。

地元の案内人として黒野城のレクチャーを河口。方位研究の関谷と郷会長にて行う。

黒野城下の地形は、北の玄武に御望山、東の青龍に伊自良川、西の大道に街道と板屋川(元古根尾川)が合流するところであり、城郭の南側朱雀は窪地の平地になっている。城下町エリアは風水都市として有名な京都の鴨川、桂川と同じ形状。このような中州の場所は「水龍環抱」という吉相であるという。但し西方の山(船来山)が小さいから強さに欠けるとあーりんさんは言っていた。



あーりんさんの羅針盤



風水の基本レクチャーを説明するアーリン



アーリン資料:

龍脈と龍骨・四神相応・黒野城の地形・黒野城と城下町

研究会資料:(河口)

黒野城の四神相応(4枚)・本丸跡想像図

コース: 本丸跡→古町→東外堀→超勝寺→東木戸→北外堀→多賀神社→本丸跡



超勝寺にて



平成25年11月2日(土)・3日(日)

「会館まつり」出展

今年の「会館まつり」は、市民活動3年目の集大成として事業活動の実績状況を写真展示。

1階の会館入り口には、研究会活動のTVニュース番組(4本)の放映。2階では「黒野城武将隊」のビデオ映像を流す。

2階の展示場に、岐阜市教育委員会が発掘した北西櫓跡の展示コーナーを設け、市民の関心を集めた。

見学者約170名。歴史や活動に関心の来場者に好評であった。



研究会コーナーの全景



旗・鎧・南東隅櫓の発掘靴調査展示物(岐阜市教育委員会)コーナー



長良川おんぱく「写真好き集まれ 女子大生と行く黒野城下町あるき」で応募の写真展コーナー



主な事業写真・3年間の実績・今年の計画のコーナー



校区市民運動会「黒野城武将隊」コーナー



案内板設置・案内・文化祭・講演会。清掃活動他のコーナー



大洲市訪問コーナー



テーブル

- ・黒野城かわら版
- ・研究発表資料
- ・発行マップ3種類
- ・ふるさと黒野検定子供版
- ・新聞、情報誌の記事スクラップブックを展示



長良川
おんぱく
代表の
蒲氏など
も来場

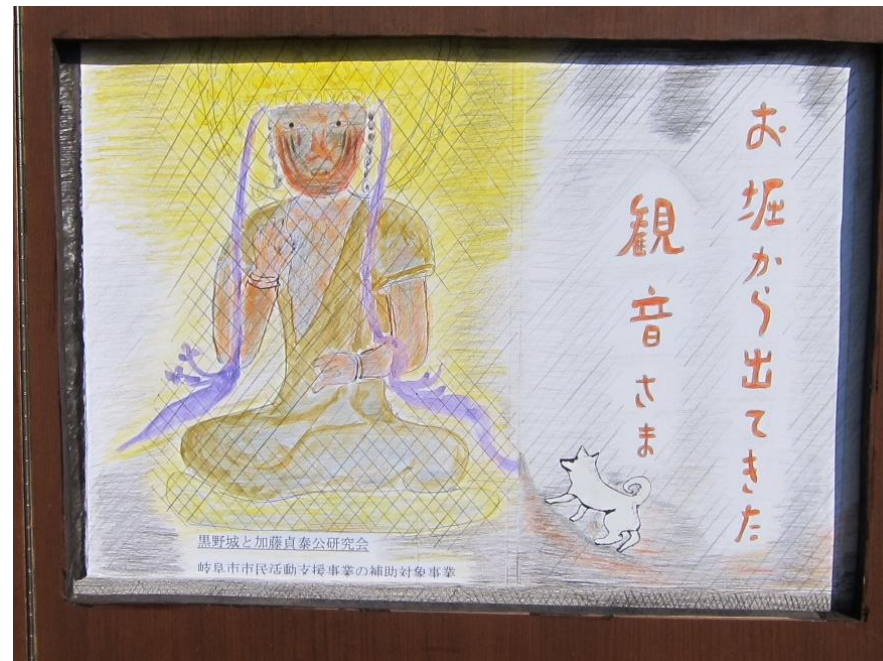


玉木和廣さんが大洲市訪問の時、父英治画を市長に寄贈した。その感謝状が当日届き信田氏から渡された。

紙芝居第2弾 「お堀からでてきた観音さま」完成披露

開催日：平成26年1月18日（土） 黒野会館別館（城跡）での研究会にて

待望の第2弾完成し研究会で初公開披露。紙芝居担当の郷和彦氏ほか会員、
下絵は郷和彦氏長男学さんや郷孝夫氏正子奥様もお手伝いで完成。



【題】 『お堀から出てきた観音さま』

制作・発行 黒野城と加藤貞泰公研究会

脚本・挿絵 郷 孝夫・河口 耕三・郷 和彦

岡野 正弘・神山 順子・名知 勲

郷 正子・郷 学

平成二十五年 岐阜市市民活動支援事業の補助対象事業

平成十五年十二月二十四日

おわり

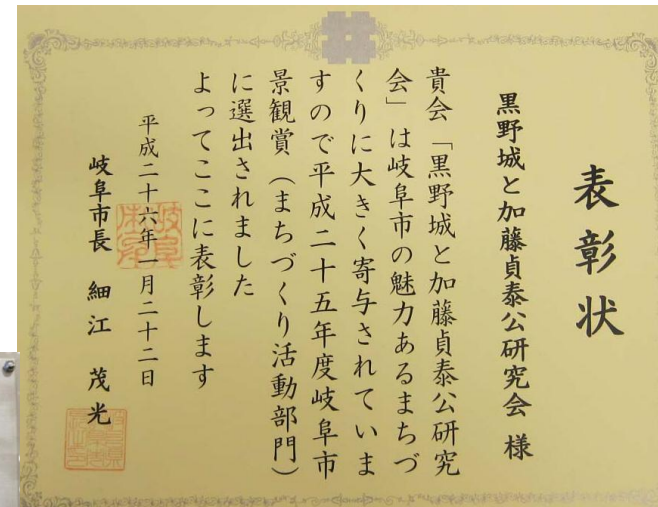
日時：平成25年1月22日 14:00～15:30

会場：柳ヶ瀬あい愛ステーション

平成25年度岐阜市景観賞

「まちづくり活動部門で景観賞」を受賞

黒野城と加藤貞泰公研究会が、平成25年度岐阜市景観賞の[まちづくり活動部門]で最も名誉な景観賞受賞。会の有志が出席し、岐阜市長から表彰状と銘板の贈呈。講評を選考委員入江真様(NHK岐阜放送局放送部長)から説明。郷会長が会の活動状況とお礼のあいさつを行いました。



←景観賞の銘板



講評説明の
入江選考委員
→



景観賞の3部門 (2月3日～12日迄市役所ロビー展示)



↑郷会長から受賞者代表の挨拶

授賞式参加の研究会員(他信田氏)→

「ふるさと黒野検定こども版」表彰式

平成25年1月31日8:30～
黒野小体育館

平成25年度開催の「ふるさと黒野検定こども版」は、黒野小4, 5, 6年生を対象に、6月18日～12月3日の間、延べ10回に亘り、学校の協力を得て延べ440名の児童が回答を寄せた。

検定協力功労者表彰を黒野小体育館にて検定賞と賞品が授与された。
最優秀賞は池田愛結(6の1)で優秀賞2名、功労書32名が表彰された。
郷会長からお話もありました。



功労賞 31名代表 後藤 稔之助君
優秀賞 日比野 薫 池田 心愛 (ここな)さん
最優秀賞 池田愛結(あゆ)さん



最優秀賞メダル



賞状と
賞品の
一部)

黒野城跡美化活動

平成25年1月31日 10:00～11:00
黒野城跡

研究会の有志8名により、2日後の「訪ねて見よう 黒野城と城郭ウオーク」に備え、松井さんが用意したプランターの設置や、本丸内と堀内のゴミ拾いなどを行い、綺麗になりました。



「訪ねて見よう 黒野城と城郭ウォーク」 まち歩き初の主催行事

開催日：平成26年2月2日（日） 9:00～12:00

まち歩きは、人が集まりにくい状況の中、市広報で講座募集の結果、定員20名を越える応募があり25名で締め切った。その後も5名の応募。また、1月22日の市景観賞受賞で知名度向上も要因と思われる。

当日は、早朝から雨天であったが、前日、当日の電話連絡で、雨中にもかかわらず21名（男11名・女10名）が参加。予定コースを時間通り終え、あんパン1個と、お茶を配り、皆さんに喜んで頂いた。（参加会費300円）

案内役と交通安全に研究会員7名が対応した。

終了後、参加のNPO法人 ふれあいの森自然学校の代表者中山氏と松本静子氏から、来年2月22日（日）に、毎月のなるほど自然講座の黒野城跡案内の打診があり、快く引き受けた。



雨天でKVK自転車置場で始めの会長挨拶



終了後
全員集合→

平成26年2月15日(土) 9:40~12:00
会場: 柳ヶ瀬愛あいステーション

平成25年度岐阜市市民活動支援事業報告会

研究会では、市民活動の支援を受けて3年目、最後の活動報告会に監事以上7名と信田さんが参加した。

全18団体の中で午前の部9団体、抽選で8番目に4分間の持ち時間で担当全員から説明とプロジェクターで報告を行った。他団体は1名~3名でしたが、研究会は、全員が陣羽織、鉢巻、松井さんは鎧、兜、旗で登場し、会場の雰囲気も盛り上げた。

審査委員の山崎先生からも発表会で良い事例として講評があった。審査委員の藤沢眞一氏(岐阜市自治会連絡協議会「住民自治活性化委員会」委員長)からは活動全体を高く評価していただき、武将隊で道三まつりや信長行列に岐阜武将隊と共同参加で市民にPRすることも良いのではとアドバイスもあった。終了後、交流会では他団体と接触し会話もあった。



日時 : 平成26年3月18日(火)
 時間 : 7:25~19:10

瑞浪市小里城址・全源山興徳寺などを訪ねる

研究会員小里氏の紹介で、瑞浪市稲津町大字小里字町の県史蹟小里城址などを黒野側から15名が乗用車3台に分乗し研修訪問する。

瑞浪市3団体の皆さんの案内で小里城館跡を全員で見学後、山頂本丸跡見学グループと小里城下の歴史遺跡見学グループに分かれ見学する。その後、小里氏菩提寺の興徳寺の訪ね、本堂にてお参りし稲葉住職からお話を聞く。お寺で昼食後の交流会では、郷会長の挨拶、田中豊先生の古文書と土岐氏、明智氏等の講演、小里城顕彰会の柴田氏や、教育委員会の砂田氏から小里城について説明。

研究会からは、郷和彦氏の紙芝居上演、河口から黒野城のリーフレットや本丸研究資料で説明。帰りは陶磁資料館に案内して頂き見学。

瑞浪市の皆さんには雨天の中、大変お世話になり、有意義な交流研修会でありました。

参加者: 黒野側 研究会9名、他2名、長良郷土史クラブ3名
 交流メンバー

- ・歴史フォーラム代表 田中豊氏
- ・瑞浪市教育委員会 砂田普司氏 (主として発掘調査関係)
- ・小里城顕彰会 柴田増三氏・吉田 昇氏
- ・柳津町の文化財を守る会 加知弘至氏 他同上9名



小里城山城跡



興徳寺本堂にて読経・焼香



興徳寺庫裏にて紙芝居上演